

Rotary 



BE THE INSPIRATION
インスピレーションになろう

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

2018-19年度
ガバナー月信 **11** 月号

Vol.5

国際ロータリー 第2660地区 ガバナー **山本博史**



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2018-19年度
ガバナー月信 **11**月号 Vol.5

CONTENTS

ガバナーメッセージ ロータリー財団月間に寄せて	1
大森慈祥パストガバナーを偲んで	3
ロータリー財団月間に因んで	4
世界インターアクト週間によせて	5
クラブ訪問雑感	6
2018-19年度 意義ある奉仕賞について	7
地区委員会 委員長・副委員長 研修会報告	8
青少年交換来日学生受入オリエンテーション・歓迎会帰国学生報告会を終えて	10
クラブ青少年奉仕合同委員長会議	11
2018-19年度 秋のRYLAセミナー 開催報告	12
クラブ米山奨学委員長・米山奨学生カウンセラー研修会	14
地区大会出席のお願い	15
2018-19年度 地区ロータリーデー「地車 in 大阪城2018」のご案内	16
ローターアクト活動報告	17
My ROTARY 登録率	19
米山奨学委員会／ロータリー財団	20
米山奨学会 寄付状況	21
2018年9月度 会員数・出席報告	23
コーディネーターニュース	24
ハイライトよねやま	25
文庫通信	27



ロータリー財団月間に寄せて

国際ロータリー 第2660地区
ガバナー

山本 博史
(大阪南RC)

1917年、当時のRI会長であったアーチ・クラフが現在の財団の前身である「世界でよいことをするための」基金の設置を提唱して以来、ロータリー財団は世界有数の財団に成長してきました。国際ロータリーと同じくロータリー財団の世界本部は米国イリノイ州エバンストンにあり、会員制組織である国際ロータリーが理事会によって管理される一方、公共慈善団体であるロータリー財団は、管理委員会によって管理されています。

財団寄付の91%が奉仕プログラムに直接活用され、その財務管理の透明性や説明責任はチャリティー・ナビゲーター(米国最大の慈善団体の独立系評価機関)(*)で高く評価され、10年連続して最高評価を受けており、これは我々ロータリアンが安心して寄付ができるということです。

その寄付の用途(**)ですが、大別するとポリオプラスに約40%、財団補助金(地区補助金とグローバル補助金)に約37%、ロータリー平和センターに約2%、各プログラムに支出されます。運営管理費の割合はきわめて低く、約2%弱となっています。

ロータリー財団設立後、初のプログラムは財団奨学生プログラムでした。この奨学金制度は「大学院研究のための奨学金」で、大学院留学の支援を通じて国際理解を推進するというものでした。1951-52年度の日本人奨学生は緒方貞子氏で、米国ワシントンDC留学され、後に国連難民高等弁務官として活躍されたことは衆知の通りです。

現在、主な奨学金プログラムは、グローバル奨学生とロータリー平和フェローですが、両プログラム共に奨学生は海外の教育機関で修士課程を学んだ後、さらに国際的な活動に従事することから、なかなかロータリアンが彼らと親睦を深める機会がなく、奨学金制度も一部のロータリアンにしか理解されていないのではないのでしょうか。

当地区では2013-14年度プログラム開始以来、素晴らしいグローバル奨学生を毎年輩出していることを是非多くの会員に知って頂きたいと、今年度の地区大会初日の会長・幹事懇談会プログラムにおいて2名のグローバル奨学生の帰国報告を予定致しました。一人目のバツィー亜夢斗(アムト)君は、大阪大学在学中にパキスタンでアフガン難民と出会い、世界平和に貢献したいという強い意思をもって奨学生に応募され、2018年ロンドン・スクール・オブ・エコノミクスで紛争学を修了しました。2018年2月からは、外務省から日本政府代表団専門調査員としてオランダにある国際化学兵器禁止機関に派遣され、シリア内戦などの化学兵器使用問題や軍縮に取り組むことになっています。またもう一人の奨学生である渡辺菜さんは在ルワンダ日本国大使館に在籍中に応募され、ロンドン大学東洋アフリカ研究学院で移民と開発学を専攻、2018年4月からアフリカや中東地域で難民支援プロジェクトに従事される予定です。



彼らの貧困撲滅や平和や紛争予防/解決への強い思いと将来の平和構築のためのキャリアへの堅固なコミットメントを聞くと、ロータリー財団寄付の重要性と意義、さらには誇りを感じて頂けると確信しています。どうぞ、会長・幹事の皆様だけでなく、ひとりでも多くの会員に彼らの思いを聞いて頂きますようお願い申し上げます。そして、今後ともロータリー財団へのご理解と御協力をお願い致します。

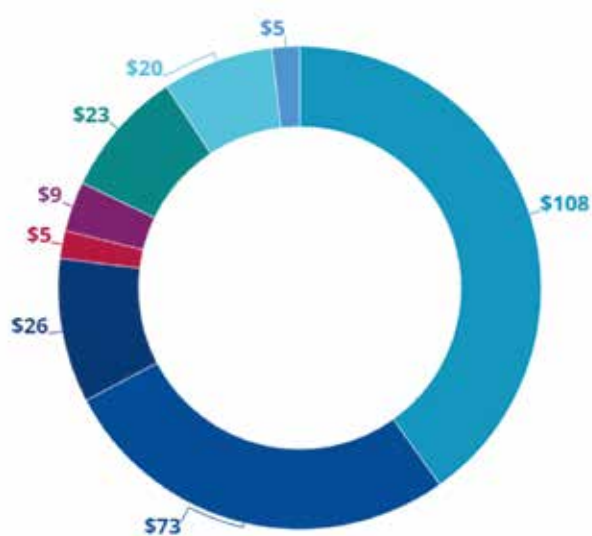
(*) チャリティー・ナビゲーターの最高評価



(**)

ロータリー財団の支出

(単位：万ドル)



● ポリオプラス ● グローバル補助金* ● 地区補助金 ● 平和センター ● その他 ● プログラム運営
● 寄付促進 ● 一般管理運営

大森慈祥パストガバナーを偲んで

国際ロータリー 第2660地区
ガバナーノミネー簡 仁一
(茨木RC)

大森慈祥パストガバナーがお亡くなりになった、と耳にしたのは、茨木RCと姉妹締結をしている台北西北RCの周年行事に参加するため、台北に到着した直後のことでした。喪失感と無力感でいっぱいになって青空を見上げるうち、大森パストガバナーとこの地で過ごした記憶がよみがえってきました。

ロータリーのメンバーとして、公式に何度も足を運ばれていたものの、70代後半からは遠ざかっておられました。けれど、5年ほど前に突然、「汪國恩パストガバナーご夫妻ら懐かしい会員の方々に、もう一度お会いしたいなあ」とおっしゃって、プライベートな旅にご一緒することになったのです。

台北西北RCの皆さんは、プライベートでの訪問を喜ばれ、公式訪問の時以上に歓迎してくださいました。心のこもった食事会を開いてくださったことに感激した大森パストガバナーは「ぜひとも、明日はこちらがおもてなしをしよう」と言われ、奥さまから「特別なプランをお願いしますね」と仰せつかりました。ホテルと交渉し、北海道のカニなど和食のメニューを作りました。朗らかな笑顔で、台北の皆さんとカニを味わいながら、会話を楽しんでいたお姿が記憶に焼き付いています。台北西北RCのメンバーも、あたたかくおらかなお人柄の大森パストガバナーの突然の悲報に、深く嘆いておられました。

大森パストガバナーは1962年、31歳の時に茨木RCに入会され、以来、56年の間、皆出席を続けられました。クラブや地区の役員を歴任され、1993-94年度には国際ロータリー第2660地区ガバナーを務められました。ガバナー就任中には、女性会員を中心とした大阪そねざきRC、そして茨木西RCの発足に力を尽くされました。

私たち後輩のメンバーには、いつも笑顔で接してくださいました。「水のような存在になって素直な心で与えられた出会いを受け入れ、真心を尽くして奉仕にあたりなさい」と大きく包み込むように教えてくださいました。

若い頃はバイクが好きで、奥さまを乗せて奈良県内を走っておられたそうです。また信者さんに漢方薬を届けるため、毎週のように奈良県五條市から大阪府茨木市の冥應寺まで、片道2時間ほどをかけて往復されていた、と聞いたこともあります。

ロータリーの<心>が何なのか。慈しみの心とバイタリティーにあふれた大森パストガバナーは、身をもって示してください、私にとっては、もう一人の父のような存在でした。2020-21年度のガバナーに指名された時、だれよりも喜んで下さり、勇気づけてくださった大森パストガバナーが今、おられないことが、残念で無念でなりません。そのご遺志を継ぎ、大森さんを含む多くのパストガバナーの手を渡ってきたバトンを受け取る準備を、しっかり進めていきたい、と今、改めて決意しています。



大森パストガバナー、本当にありがとうございました。
安らかにやすみください。



ロータリー財団月間に因んで 忘れてはならないポリオ

ロータリー財団委員会 委員長
パストガバナー **福家 宏**
(八尾中央RC)

9月の地区ロータリー財団セミナーで私は「忘れてはならないポリオ」と題してお話をしたばかりですが、ロータリー財団月間に当たり私はやはり「ポリオ撲滅」についてのインフォメーションを発信したいと考えました。ポリオは今年も10数件発症しているのですが遠い国のお話で、日本の幼い子供たちが今なおポリオの予防接種(不活化ポリオワクチン)を受け続けていることすらご存じでない方が、確実に増えているようです。私たちロータリアンはそうであってはならないのです。何故なら私たちは1985年、世界中の子供たちに「ポリオの撲滅」を約束したのですから。

1985年と言えばロータリー創始80年の時であります。その頃世界では125か国でポリオが蔓延しており患者数は35万人に達していました。ロータリーはポリオ・プラス計画を発表しました。以来今日に至るまで「ポリオ撲滅は」RIとロータリー財団の最優先事項であり続けています。これまでに世界中のロータリアンはポリオ撲滅のために多額の寄付を行うと同時に、ポリオ撲滅への献身的な努力を続けてきました。その成果には目を見張るものがあります。2014年にはポリオ蔓延国はナイジェリア、パキスタン、アフガニスタンの3か国にまで減少し、ポリオ発生数は107人にまで、2017年には5人にまで減少したのです。これには1988年に誕生した世界ポリオ撲滅推進活動すなわちGPEIが指導的役割を果たして来ました。GPEIは世界保健機関、RI、UNICEF、米国疾病対策センターの4組織から構成されていますが、そこに2008年からビル・アンド・メリнда・ゲイツ財団の莫大な資金援助や各国政府の資金協力もあり、漸くここまでやって来たのです。

ほんのもう少しに見えるのですが、ポリオ完全撲滅を阻んでいる厄介な問題があります。それはポリオ生ワクチンを飲んだ子供の排泄物を介して、ワクチン由来のポリオが発生していることです。今年2018年上半期を見ますと、野生株によるポリオ発生が14件に対して、生ワクチン由来のポリオが24件も発生しているのです。これに対処するには他者に感染しない不活化ワクチン(注射)の導入が不可欠となります。注射は医療従事者にしか接種出来ないで、費用も時間もかかってしまいます。しかしここで手を緩めるわけには行かないのです。努力を重ねて富士山の9合目までたどり着いたところで登頂を諦めて下山するようなものです。私たちの子孫も永久にポリオの恐怖や予防接種から逃れることは無くなってしまいます。

ポリオ撲滅にはポリオの発生状況を精密に調査する(サーベイランス)特別な技術が必要ですが、GPEIは努力を惜みずサーベイランス強化を続けていることも私たちは、覚えておきたいと思えます。世界の子供たちに約束した「ポリオ撲滅」を成し遂げるために、私たちは時間を捧げましょう。「声」となって多くの人々にメッセージを伝えましょう。そして自らの認識を高め、寄付を致しましょう。



世界インターアクト週間によせて

インターアクト委員会
委員長

中野 隆二
(大東RC)

平素よりインターアクトの活動にご理解と、ご支援を賜り皆様方には心より感謝を申し上げます。

さて、RI理事会は、RCとインターアクトクラブ(IAC)に、11月5日を含む1週間を「世界インターアクト週間」として遵守するように奨励しています。それは、ロータリークラブとインターアクトクラブを「顕著であり、国際規模の活動」に参加させるためです。

1959-60年度の国際ロータリー(RI)会長・ハロルド・トーマスは、世界各地のロータリアンが共通して「ロータリーは青少年奉仕を開発する力を、十分に発揮していない」という気持ちを抱いていることに気づきました。

そうした中で、世界中の青少年が共に活動できるような組織をつくらう、という機運はますます高まり、トーマスRI会長は1960年、5人のロータリアンからなる委員会を発足させました。

2年後の1962年、世界最初のIACは、アメリカ・フロリダ州メルボルンRCの提唱により10月28日に結成、23人でスタートしたのがメルボルン高校IACです。その後、IACは次々と広がっていき、現在では、世界各地で、青少年がさまざまなインターアクト活動を通じ、国際理解と親睦の輪を広げています。

そして、日本最初のIACは、1963年6月27日に結成された、宮城県の仙台育英学園高校IACです。提唱は、仙台東RC(現・第2520地区)当時の第352地区でした。100人を超える人数で誕生し、日本第1号のこのIACは、当時、世界最多の会員数を擁していました。

当地区のIACは、清風学園(大阪南RC)、大阪桐蔭(大東RC)、浪速(大阪帝塚山RC)、四天王寺(大阪天王寺RC)、金光八尾(八尾RC)、相愛(大阪RC)、大阪国際大和田(守口イブニングRC)、高槻(高槻RC)、開明(大阪中之島RC・大阪東RC)、アサンプション国際(池田くれはRC)の全10校が有ります。各校では、地域への奉仕活動として清掃活動、献血活動、募金活動等が挙げられます。活動には、提唱RCのロータリアンが参加し、インターアクターが逆にRCの活動に参加することでIACとRCの交流と親睦を深めることで健全な青少年育成に繋がっています。

地区の活動として3つの柱が有り、海外研修では今年8月2日より3泊4日で台湾台中(第3461地区)を訪問しました。現地インターアクター達との交流と合同での地域奉仕活動をしてまいりました。年次大会(平成30年11月4日浪速高等学校中学校)、新入生歓迎会(来年6月予定)を柱とし、機関紙SCRUMを発行しています。

中学、高校生活をする年間、精神的、肉体的にも人間形成にとって極めて重要な時期であります。このような時期に地域社会に向け奉仕活動を実践し、そして国際理解を推進するプロジェクトに参加することは、素晴らしい経験であると思います。

他の人の役に立つことをすることは、他人への思いやりの心の形成であり、人の心を豊かにしてくれます。未来のリーダーを育むインターアクトクラブの活躍が一層飛躍発展し、若きリーダーが世界へとはばたく大きな一歩になると確信しています。今後もIACを提唱されるRCが増えていくことを願います。

インターアクトがさらに発展するようご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

クラブ訪問雑感

IM第4組
ガバナー補佐

鈴木 慶一
(大阪南RC)



今年の7月より、IM4組のガバナー補佐として、ガバナー公式訪問2週間前の各クラブ協議会に訪問させていただいております。不安な気持ちでいっぱいでしたが皆様の寛大と友愛の精神で大変暖かく迎えていただき、本当にありがとうございます。ロータリーの目的の一つである『知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること』をまさに、実践、実感しております。

各クラブを訪問して、感じたことを少し述べてみたいと思います。

まず、第一に感じることは、どのクラブも個性があり、人の顔が、それぞれ異なるように、まさに、クラブの顔も、それぞれ違うと感じました。IM4組は大阪の南、東大阪、八尾、大阪柏原そして、大阪ネクストと多彩な顔触れですが、その顔にあたるのが、例会であり会長ではないか、と思います。会長は例会を中でも会長の時間にどんな話をするか、一生懸命準備されているのが、よく分かります。会長のロータリーへの思いや、これまでの経験、その他、色々な、お話を聞かせていただき、勉強にもなりますし、会長の人となりも、大いに感じます。また例会の式次第や内容は、ほぼ、どのクラブも同じですが、そこから受ける印象は本当に色々です。会長の個性もあるでしょうし、同時にクラブの歴史、文化、などによることも、大いにあると思います。それぞれのクラブが、メンバーを大切にされつつ、クラブの伝統を守っておられる賜物と思います。

また、一方で共通していることがあります。それは笑顔です。どちらのクラブに伺っても、久しぶりと言って、笑顔で挨拶、先日の事業でお世話になりました、と言って笑顔で挨拶。今度の事業、協力お願いします、と言っては笑顔で挨拶。まさにロータリーは笑顔の集合体です。笑顔は元気の源だ。などと、よく言いますが、まさにロータリアンは、この笑顔で、パワーを、もらっているのでしょう。皆様本当に若く、お元気です。私自身も、たくさんのパワーを、この笑顔から頂いていると実感しています。

このように、はじめは少し不安であった、クラブ訪問も、少しずつ楽しみに変わってきました。ホームクラブにとって参考になることも多く、また、ホームクラブの良さを認識する機会にもなると、痛感しています。まだまだ未熟な補佐ですが、何とか来年6月まで、ガバナーにとっても、クラブにとっても、お役に立てるよう頑張りますので、皆様の、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。



2018-19年度 意義ある奉仕賞について

意義ある奉仕賞委員会 委員長
直前ガバナー

片山 勉
(大阪東RC)

2018-19年度、従来の「意義ある業績賞」は「意義ある奉仕賞」と名称をあらため、申請要件や方法も新しくなりました。

クラブの申請を地区（意義ある奉仕賞委員会の推薦を経て地区ガバナー）が承認すれば、クラブは受賞することができるうえ、「意義ある業績賞」は1地区につき1クラブでしたが、「意義ある奉仕賞」はいくつでも申請および承認が可能です。

各クラブにおかれましては、下記詳細をご確認のうえ申請下さい。

【意義ある奉仕賞】

地域社会の重要な課題やニーズに取り組むプロジェクトを実施したクラブを表彰する賞です。クラブが地域社会の重大な問題やニーズを満たすために実施した奉仕活動を、地区が認証します。

推薦者 クラブ会長

推薦期日 2019年5月31日

申請方法 オンライン(My ROTARY→会員コーナー→各種賞・表彰)で申請し、ガバナーが承認します
(書類による申請はできません)

申請要件 *クラブが地元社会の重大な問題やニーズを満たすために実施した社会奉仕活動

*財政支援にとどまらず、多くのクラブ会員が直接参加した活動

*地域社会においてロータリーのイメージを向上する活動

*他のロータリークラブの模範となる活動

*今年度を実施した活動(活動の開始/完了年度が今年度でなくても良い)

*年度内、1クラブ1申請に限る

「意義ある奉仕賞」についてご質問がございましたら、

意義ある奉仕賞委員会(ガバナー事務所 gov@ri.2660.gr.jp または 06-6264-2660)まで御問い合わせ下さい。

地区委員会 委員長・副委員長 研修会報告

地区研修委員会 委員長
パストガバナー

岡部 泰鑑
(大阪城南RC)

日時：2018年10月6日(土) 10:00-12:00
主催：RID2660地区研修委員会
会場：大阪府社会福祉指導センター
出席者：地区役員および地区委員会 委員長・副委員長
研修目的：地区委員会の責務と役割について

上記要領で開催致しました研修会のプログラムと発表内容の概要を以下の通りご報告申し上げます。

●開会挨拶および主旨説明(山本DG)

本日は急な研修会開催にも関わらず、多数ご参加頂いたことに感謝致します。

2017年11月頃より地区委員会運営や財務に関する方針は、当時の委員長予定者の皆様とは協議を重ねお願いしてきましたが、今年度の副委員長とは直接伝える機会がありませんでした。

本日は、副委員長および次年度委員長候補者の皆様に、次年度以降も継承されると思われる地区委員会運営ルールを理解頂くようお願い致します。

●地区委員会の役割(岡部PDG地区研修リーダー)

先ず、五大奉仕部門委員会の役割に関して手続要覧を読みながら出席者全員で再確認の後、効果的な委員会や会議の進め方について実践を交えながら研修を実施しました。特に、委員長の一方的な話しに終始する委員会ではなく、委員長がファシリテーターとして出席者から意見を引き出し、時には結論に導くといった、合意に向けた論点整理や合意形成、参加者のモチベーション向上、アイディアの促進などの役割を果たすようアドバイスいたしました。

この研修や会議の手法は、RIにおける国際協議会をはじめとするGETS(ガバナーエレクトトレーニングセミナー)で実施されており、また将来のクラブ会長やクラブ指導者が、ロータリーに関する十分な知識を持ち、効果的なクラブ造り、各種プログラムを推進させるために十分な指導力を発揮できる様、指導者育成の機会提供としてRLI(Rotary Leadership Institute=ロータリー・リーダーシップ研究会)でも紹介されています。

●地区委員会運営要件(宮里地区代表幹事)

地区チーム研修セミナーおよび合同地区委員会で各委員会に依頼しました要件の遵守状況を鑑み、再度以下項目の徹底をお願い致しました。

〈会議や行事の開催時の注意点〉

- *案内文書やプログラムなど昨年作成成分を上書きしない
- *テーマの共有と時間厳守(特に、外部講師やクラブ事例発表をプログラムに含む場合)
- *案内文書は地区ヘッダーを使用し、開会および閉会時間を明記
- *顧問PDGによる講評後は速やかに閉会

〈卓話について〉

- *委員自身の勉強の機会、およびクラブサポートの一環として出来る限り受諾する

〈ガバナー事務所について連絡事項〉

- *事務局長は代表幹事が兼任
- *12月 業務担当の変更と理解へのお願い



〈委員会情報の発信について〉

＊感想文ではなく、委員会内容報告掲載のお願い

＊写真は懇親会、集合写真や記念写真ではなく活動写真掲載のお願い

〈ハンブルグ国際大会 地区ナイト〉

地区ナイト (RID2660 山本ガバナー、大阪南RC、地区国際委員会共催) をハンブルグにおいて2019年6月1日 17:30よりハンブルク市庁舎内レストランで“大阪地区ナイト”を開催します。地区委員はじめホームクラブ会員皆様お誘い合わせのうえ、参加下さい。

●地区委員会財務要件 (飯井地区財務委員長)

そもそも、財務委員会が現在のように予算決算の内容を確認するに至った理由は、立野ガバナー年度よりRIに対し、地区財務の報告をすることになった為です。

初年度は、決算のみを確認しておりましたが、この3年間にわたり、各年度の財務委員会が、予算、決算を確認するようになり、現在では、地区資金を使用する全事業の予算案、決算、案内文まで、確認をさせていただいております。また、財務委員会で議論となった、意見や質問を、各委員会の委員長の皆様にフィードバックさせていただき、地区活動資金が有効に、かつ無駄なく使用されるように検証を行っております。今年度も既に多くの委員会で事業が実施されておりますが、今後も、貴重な資金を奉仕のために有効に活用いただきますようお願いを申し上げます。

●地区ロータリーデー (広報・情報・公共イメージ向上委員会 新倉副委員長・湯木委員/大阪RC)

2018-19年度 地区ロータリーデー「地車in大阪城2018」を第2660地区および大阪RCの共催で開催致します。大阪一円から約10万人が集まるイベントにおいて、ロータリーのイメージ向上とポリオ撲滅キャンペーンの広報および募金活動を予定しています。

ロータリーデーはバリー・ラシンRI会長により、全世界で開催を推奨しています。詳細は別添案内を参照のうえ地区委員およびクラブ会員の参加推進に御協力下さい。

●2019-20年度 地区委員会について (四宮ガバナーエレクト/大阪西南RC)

次年度に向けての地区関係スケジュールのと地区委員会に関する当地区方針での変更点を説明 (地区ガバナーにより、委員長・副委員長の任期を複数年に定める事がある) のうえ、各委員会の開催頻度の見直しと内容の充実度を一層図って頂くようお願い致します。



青少年交换来日学生受入オリエンテーション・歓迎会 帰国学生報告会を終えて

青少年交換委員会
委員長

生沼 寿彦
(大阪うつばRC)

日時 平成30年8月23日(木)～25日(土)

場所 長居ユースホステル

参加者 全日：青少年交換委員会10名、ROTEX9名

25日：山本ガバナー、四宮ガバナーエレクト、青少年交換委員会元委員長3名、ホスト・スポンサークラブ関係者31名

青少年交換委員会では毎年日本の高校生を世界各国の学生と交換しています。約1年にわたりロータリー親善大使として、ホームステイをしながら派遣先の高校に通い、学業と共に国際交流やボランティア活動を通じて多くの異文化体験をしてくると言う大変有意義なプログラムです。当地区では今年度5名の学生を派遣し、5名の来日生を受け入れました。

来日生に対する受入オリエンテーションでは日本の習慣や生活様式に対する最低限の知識と初級の日本語などを教えると共に、プログラムのルールと親善大使としての心構えを指導します。また、フィールドワークとして地下鉄乗車に始まり、食事の作法を実践したり、大衆浴場も体験してもらいました。

既に日本語を一定以上話せる子もいて、皆日本語習得や日本文化に高い興味を示しています。これから始まる日本での生活が彼らにとって素晴らしいものとなるよう委員会一同、ROTEXと共にサポートして参ります。

帰国報告会は6名中5名が参加、学校行事のため当日来れなかった1名もビデオレターで参加してくれました。実際に彼らの出発前研修に参加した一人として、彼らの著しい成長ぶりに大変感心させられました。

出発前の研修では毎度声が小さいと注意されていた彼らが、はっきりとした口調で堂々と一年間の成果を発表する姿を見て、青少年の成長力・吸収力の高さを再認識させられました。言葉もままならない海外においては、自ら心を開いて皆に飛び込んでいかなければ友達を作ることは難しい。それに気づき、勇気をもって頑張り通した彼らの姿は、皆一様に自信に溢れていました。

今年度の派遣学生・来日学生は下記の通りです。

スポンサー／ホストRC	派遣生	派遣国	来日生	出身国	受入高校
大阪梅田	浅井真由嘉	アメリカ	Brittney RINGLER	アメリカ	大阪府立今宮高等学校
東大阪・東大阪東	藤井 華子	フランス	Lisa MENETRIER	フランス	大阪府立夕陽丘高等学校
東大阪中央	岩橋 映美	アメリカ	Gabriel BURROWS	カナダ	大阪府立花園高等学校
大阪リバーサイド	前田 峻輝	フィンランド	Joonas JUUSELIUS	フィンランド	大阪府立夕陽丘高等学校
大阪うつば	北野 裕馬	アメリカ	Houston EDWARDS	アメリカ	大阪府立住吉高等学校



クラブ青少年奉仕合同委員長会議

青少年奉仕統括委員会 委員長
ガバナーエレクト

四宮 孝郎
(大阪西南RC)

日時：2018年9月15日(土) 13:30~16:40

会場：大阪YMCA会館

出席者：山本DG、岡部PG、片山PG、ガバナー補佐5名、ガバナー補佐エレクト5名、地区関係者46名、クラブ青少年奉仕担当者72名、チームRYLA2名、IAC2名、RAC2名、ROTEX4名、学友会1名 合計142名

今年度より青少年奉仕統括委員会が設置された事を受け、各クラブの青少年奉仕部門担当者にRIの青少年奉仕プログラムの素晴らしさを理解して頂く為に各委員会合同で開催されました。

講演には第2680地区(兵庫)危機管理委員長 黒田建一様にお越し頂き、「青少年奉仕活動と危機管理」についてお話頂きましたが、直後の危機管理委員長 片山PGによる話と共に各クラブの青少年奉仕活動実施にあたり、危機管理の重要性の認識がさらに深まったものと思われます。

各委員会からの報告は従来の委員長による説明だけではなく、各青少年プログラムを体験した学友や青少年を中心に、その内容を映像をまじえながら語って頂きました。

チームRYLAによる活動報告とアイスブレイク、ローターアクト地区代表による諸活動の報告、インターアクターによる海外研修の体験談、ROTEX会長の海外留学経験談、学友会会長による説明等、いずれの発表者もロータープログラムに対する感謝の気持ちが込められており、各クラブの青少年奉仕担当者の方々にとっては馴染みの薄かった青少年プログラムの理解度が一層深まり、今後のクラブ奉仕事業に大いに参考になった事と思えます。



2018-19年度 秋のRYLAセミナー 開催報告

RYLA委員会
委員長 濱谷 和也
(東大阪RC)

2018年9月22日(土)～24日(月・祝)の2泊3日、関西大学 高槻キャンパス 高岳館にて、茨木西RCのホストで2018-19年度 秋のRYLAセミナーが開催されました。

各クラブのロータリアンが推薦する18歳～30歳迄の青少年、留学生、ローターアクター、米山奨学生など、総勢36名の受講生が2泊3日で様々な研修を受講しました。

テーマを「生きぬく!! ～様々な知識を得て～」とし、基調講演では八尾彰一氏(トライアスロンコーチ)に「3度のオリンピックを経験して選手から学んだ思い」と題し、ご自身の体験を通して得た様々な事をわかりやすくお話しして頂きました。

基調講演が修了した後は5班に分かれ、各班にロータリーパパが付き、RYLAセミナー終了まで食事や移動を含め、終始班毎に行動を共にして様々な研修を受講します。最初の研修は「アイスブレイク」です。受講生とパパが協力し、与えられた様々な課題を解決します。初対面のメンバー同士のグループが、徐々にチームとして機能するようになっていく事を実感できる研修です。

夕食後は「ロータリーについて」の講習です。ロータリーを全く知らない青少年達に、ホストクラブの宮里 唯子会員から映像を交えて判りやすく説明されました。夕食後の研修にもかかわらず、受講生達も一生懸命聞き入り、ロータリーについて少しは理解できたのではないかと思います。また、同席したロータリアンも、改めてロータリーについて理解を深める有意義な講習となりました。

2日目、最初の研修は「朝の集い」です。ラジオ体操に続き、初日のアイスブレイクで選ばれた班が考えたクイズゲームを行いました。基調講演やロータリーについての講義からも出題され、受講生達は各研修を真剣に受講していることを実感しました。朝食後はテーマに沿い、事例を交えた危機管理についての講義や、心臓マッサージや人工呼吸、AEDの使い方を実践する救命処置講習、災害時のストレッチ体操の方法などを体験し、「生きぬく」ための「様々な知識を得る」ことができました。

夕食はバーベキューです。会場の摂津峡まで徒歩20分ほどかかりますが、移動中も班毎にパパと共に行動し、会場でも自然に役割分担ができ、炭火を囲んで“ワイワイ”“ガヤガヤ”とバーベキューを楽しみました。帰りは街灯も無い真っ暗な道を小さな懐中電灯で、お互いの足元を照らしながら歩みを進めていました。

宿舎に戻り、消灯までの時間は班毎にパパを囲み、座談会が行われます。パパと受講生達が様々な話題で互いに話をします。この頃には受講生だけではなく、パパも各班のメンバーに対する想いが深くなります。座談会は毎回開催されるRYLAセミナーの中で最も人気のプログラムです。消灯後の午前0時前、突然、関西大学の施設全体が停電し、全館真っ暗で水も出ない状態になりました。早速、危機管理の実戦訓練のようになりましたが、幸い午前3時には復旧し、翌朝には通常通りに戻り一安心しました。

最終日も「朝の集い」から始まります。ラジオ体操の後、初日に選ばれたもう一つの班が考えたジェスチャーゲームが行われました。朝食後は昼食までの約3時間で閉講式前に行われるグループ発表の準備を行います。グループ発表ではRYLAセミナーを受講して得たことについて発表します。昼食後の僅かな時間を使い、リハーサルを行う班や、慌てて資料を作り直す班など、各班共に発表開始まで最善を尽くしていました。

13時、「グループ発表」の時間です。地区役員や多くのロータリアンが見守る中、自分たちが体験したRYLAセミナーについて、各班共に工夫を凝らした方法で発表している姿を見て、受講生達にRYLAセミナーの趣旨が十分に伝わっていることを実感しました。

閉講式では、主催者の山本博史ガバナーからRYLAセミナーの修了証書が授与され、受講生から修了生となり、同時に「ロータリー学友」の有資格者になりました。

これからは、受講年齢層の人口減少により、青少年一人ひとりが担う役割が益々重要になります。RYLAセミナーは「青少年の為ではなく、青少年と共に」をモットーに、青少年とロータリアンが「何か」に気付くきっかけになることを願います。

最後に、RYLAセミナーに受講生を推薦されたロータリアン、参加・登録された会員、ホストクラブ会員、地区RYLA委員、Team RYLA他、関係各位の皆様のおかげをもちまして無事閉講したことをご報告いたします。

次回、春のRYLAセミナーは下記の日程で開催します。多数の青少年をご推薦頂きますようお願いいたします。

2018-19年度 春のRYLAセミナー

日 時：2019年4月27日(土)～29日(月・祝)

会 場：ホテルセイリュウ及び周辺施設

ホスト：東大阪東RC



クラブ米山奨学委員長・ 米山奨学生カウンセラー研修会

米山奨学委員会
委員

宮本 里恵
(大阪アーバンRC)

日時 2018年9月29日 14:00～16:00

会場 サニーストンホテル

出席者 山本博史G、米山記念奨学会 評議委員 高島凱夫PG、研修委員会リーダー岡部泰鑑PG、危機管理委員会委員長 片山勉PG、宮里唯子地区代表幹事、山本和良地区副代表幹事、ガバナー補佐、ガバナー補佐エレクト、研修委員、各クラブ米山奨学委員長、カウンセラー、地区米山奨学委員会

本年度は、米山奨学カウンセラー向けのスクール形式の研修として開催され、地区委員のほか各クラブから計93名が参加しました。

はじめに山本Gから、本会における参加者へのお言葉と、寄付の重要性と、カウンセラー制度の重要性が示されました。具体的には「ロータリーにおいて変わらないルールの重要性と、時代とともに移り変わるルールに寄り添うことの必要性がある。米山奨学生のカウンセラーがいることにより、奨学生にお金を渡すだけではなく、勉学に集中できる環境をつくり、また例会などへの参加を促すことによりロータリーの考え方を伝えることができ、それにより奨学生の勉学以外への成長も期待できる。カウンセラーのみなさんが、節度を持ちながらもしっかりと奨学生と交流を深めることにより、各クラブのみなさんとも長く繋がりや絆を持つことになることから、カウンセラー制度は重要である。」とカウンセラー制度についてご講話いただきました。

その後、地区米山奨学委員会の岡部倫正委員長より、カウンセラー制度の重要性とハラスメント問題について講習がありました。

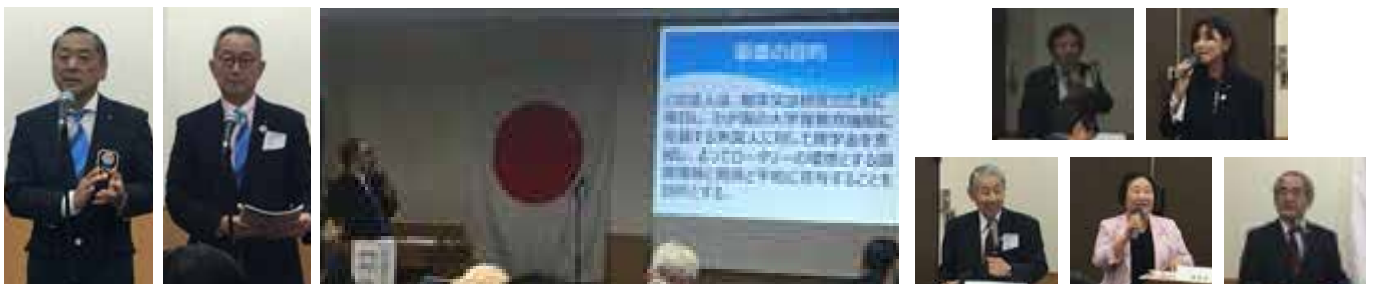
事業の目的、カウンセラーの役割、カウンセラー側の交流の工夫についてだけでなく、近年問題となっているハラスメントにはこういった種類があるのかということや、こういったことがハラスメントとなるのかといったことを具体的に示されました。

中でも16項目あるハラスメントの理解度チェックや、RIの方針としては「Zero Tolerance/容赦なし」相手が不快と思ったらハラスメント「そんなつもりはない」は通じないということや、当地区における危機管理手順が示され、ハラスメント問題への認識を深めることができました。

その後、守口イブニングRCから福田治夫氏、池田くれはRCから坂田妙子氏、八尾RCから坂本憲治氏、大阪アーバンRCから松尾香津恵氏から、カウンセラーの事例報告がありました。

ロータリー米山記念奨学会 評議員の高島凱夫PGより、カウンセラーの事例報告について「事例紹介によりカウンセラー制度について改めて重要性を感じた。それぞれの奨学生は卒業後に、全世界にある米山学友会に参加してくださいようをお願い申し上げます。そこで日本で学んだ米山の良さを、現在学友会に入っている卒業生と共有しあって、各国へお伝え願えたらと存じます。」と講評いただきました。

最後に地区米山奨学委員会 生駒伸夫副委員長より「ハラスメント問題について注意を払うことは大切です。様々な文化の違いを超えて、彼ら彼女らが嫌がることをしていないか心配りをお願いします。米山は、海外からの留学生が将来日本との懸け橋になってくださる留学生のものです。」と締めくくられました。



地区大会出席のお願い

大阪南RC
会長 **小林 二郎**

第2660地区の皆様こんにちは。2018-19年度国際ロータリー第2660地区大会のホストクラブを務める大阪南RC会長の小林二郎です。大会役員を代表して一言、皆様にご挨拶申し上げます。

ガバナー月信の誌面をお借りし、地区の皆様へ地区大会のご案内並びにご出席のお願いをさせていただきますことを感謝申し上げます。

本年度バリー・ラシンRI会長はテーマを「BE THE INSPIRATION ～インスピレーションになるう」とされ、良い変化を生むために人々が行動するその原動力に我々ロータリアンがなるうと強く謳っておられます。山本博史ガバナーはこのテーマの意味を、今一度、共に考え、心に刻みたい、その思いで同じテーマにされました。このようなRI、地区の方針を地区大会に反映すべく11の委員会を設置し、皆様にインスピレーションを感じていただけるような地区大会を目指してまいりました。

初日は大会決議上程、規定審議会報告でスタートし、会長・幹事懇談会では、小沢RI会長代理のスピーチに始まり、米山奨学生の講演、ロータリー財団グローバル奨学生の帰国報告をお聞きいただきます。

そして、国際ロータリー第2500地区2010・2013規定審議会代表議員 小船井修一パストガバナー様に「ロータリーの柔軟性 Flexibility と多様性 Diversity」をテーマにご講演いただきます。続きまして小船井パストガバナー様には、片山勉直前ガバナーと「これからのロータリーを考える」をテーマに変革していくロータリーにどう対処していくのか、ご対談いただきます。

RI会長代理歓迎晩餐会では、小沢RI会長代理をはじめ、多数のご来賓にご臨席賜り、皆様とともにロータリアンの友情を深めたいと考えております。また、世界的なバンドネオン奏者の小松亮太さんをゲストにお迎えし、「タンゴの夕べ」をお楽しみ下さい。

二日目は友愛の広場で「インスピレーションに出会おう！」をテーマに人道奉仕活動で定評のある団体に出展して頂いております。今後のロータリー活動のご参考にしていただければ、幸いです。メインプログラムの本会議では山本ガバナーから地区現況報告、小沢RI会長代理様から国際ロータリーの現況報告をして頂き、ロータリークラブを取り巻く現状をお話し頂きます。

又、記念講演では「新しいモノサシで考えよう～私が、いま伝えたい持続可能な社会」をテーマに国谷裕子さんにご講演頂きます。国連が採択し2030年までに達成すべき持続可能な社会のための開発目標「SDGs」は、これからの企業が取り組むべき目標でもあり、又、ロータリーの奉仕活動にも共通するものもあると考えられ、有意義なお話しを聞かせて頂けると思います。そして最後に「ナニワの福袋大抽選会」を行いますので、最後までお楽しみ頂ければ幸いです。

大阪南RCは、今回の地区大会にご参加頂きました方々に「参加して良かった、参加して楽しかった」とINSPIRATIONを得て頂けるよう精一杯務めて参りますので、何卒多数のご参加のほど宜しくお願い申し上げます。



山本博史ガバナー



小谷公穂
地区大会実行委員会
委員長



小林二郎
大阪南RC会長

2018-19年度 地区ロータリーデー 「地車 in 大阪城2018」のご案内

国際ロータリー 第2660地区
ガバナー

山本 博史
(大阪南RC)

地区広報・情報・公共イメージ向上委員会
委員長

樋口 信治
(大阪RC)

国際ロータリー第2660地区ではロータリーへの理解と公共イメージ向上を目的として、「地車 in 大阪城2018」において地区ロータリーデーを開催し、『ポリオ撲滅』の広報および募金活動を実施致します。

「地車 in 大阪城2018」は今年で7回目の開催となります。大阪一円から33台の地車が大阪城に集結し大阪城内を巡行する、総勢10万人が集うイベントです。OSAKA-EXPO2025の開催に向けて注目されている、大阪を盛り上げるこの大イベントに第2660地区として参加することは、ロータリークラブの認知度向上に寄与するものと確信しております。

つきましては、ぜひ多くのロータリアンの皆様に「地区ロータリーデー」に参加いただき、ポリオ・プラスの募金活動の呼びかけや、テント内設置のVRの使用説明及び誘導、来場者の写真撮影コーナーの誘導等に御協力下さい。皆様のご支援、ご協力、ご参加をお願いします。



名 称：国際ロータリー第2660地区ロータリーデー「地車in大阪城2018」

共 催：国際ロータリー第2660地区・大阪ロータリークラブ

開催日時：2018年11月3日(土・祝) 10:00~20:00

11月4日(日) 10:00~17:00 ※左記時間内でご都合の宜しい時に
ご参加ください。

開催場所：大阪城公園・太陽の広場



インスピレーションになるう



地区ローターアクト 活動報告

地区ローターアクト代表（所属クラブ：大阪淀川 RAC）

高橋 正洋
上島 将一

関西四地区実行委員会委員長（所属クラブ：池田 RAC）

ローターアクト「関西四地区交流会」報告

2018-2019 年度関西四地区交流会が下記のとおり開催されました。

関西四地区交流会とは関西近隣の第 2640 地区(大阪南部・和歌山)、第 2650 地区(福井・滋賀・京都・奈良)、第 2660 地区(大阪北部)、第 2680 地区(兵庫)が輪番制のもとで一年に一度、一堂に会する地区行事です。

■日程：

2018 年 10 月 14 日(日)

■場所：

大阪産業創造館

■ホストクラブ：

第 2660 地区ローターアクト(公募メンバー)

■参加者：220 名



今年度の交流会はテーマを「# think RAXPO」とし、今や国レベルで誘致活動を行っている 2025 年大阪・関西万博に向けて、私たちローターアクトに何が出来るかを楽しく真剣に“考える”メインプログラムを展開しました。

また、今回は初の試みで実行委員を地区内公募で集めるといった形態にチャレンジし、第 2660 地区内公募で集まった 23 名の実行委員のもとで企画・運営をいたしました所、



14 地区のロータリアン及びローターアクト、総勢 220 名という大変多くのみなさまにご参加を賜り、実行委員一同、非常に感謝感激しております。



本大会メインプログラム第 1 部では大阪府万博誘致推進室担当課長の森栄子様をゲストスピーカーにお招きし、大阪万博を誘致するに至った経緯や、誘致活動の最新状況等についてご講話頂きました。



また、第 2 部では大阪万博でも達成目標に掲げている SDGs をテーマにしたプログラムを実施しました。国際連合が掲げている持続可能な開発目標「SDGs(17 のテーマ)」について理解を深めた上で、参加者のみなさんに 17 のテーマから 1 つを選び、その内容にちなんだ例会を考え、15 秒の動画にまとめて

頂き、SDGs 達成に向けての「CHALLENGE 宣言」を行って頂きました。



尚、今回の地区行事は“閉会してもチャレンジが続く”という初の試みを実施します。せっかくの交流会・地区行事をその場限りで終わらすことなく、連続性・持続性を持たせる為、この CHALLENGE 宣言を取り入れた例会を「平成最後の関西四地区交流会」にちなみ、「平成最後の 2019 年 4 月 30 日までに実施する」ということを参加者全員の約束として実行をお願いしています。今後 SNS 等で随時アップされていくと思いますので、是非とも楽しみにお待ちくださいませ。

2018-2019 年度が始動し早くも 3 カ月が経ちますが、「CHALLENGER→未来への挑戦→」の地区ターゲットのもと、若さ溢れる行事や活動にチャレンジしてまいりますので、今後ともローターアクトにご期待下さい。



2018-19年度 国際ロータリー 第2660地区 MY ROTARY 登録状況 [2018年10月度]

クラブ名	会員数	登録人数	%
池田	31	12	38.7%
池田くれは	33	32	97.0%
箕面	29	18	62.1%
箕面千里中央	22	6	27.3%
大阪水都	48	11	22.9%
大阪中央	47	46	97.9%
大阪北梅田	65	29	44.6%
大阪北	190	122	64.2%
大阪大淀	40	22	55.0%
大阪そねざき	29	11	37.9%
大阪梅田	35	14	40.0%
大阪梅田東	36	24	66.7%
豊中	36	24	66.7%
豊中南	37	14	37.8%
豊中千里	21	12	57.1%
合計	699	397	56.8%

クラブ名	会員数	登録人数	%
茨木	29	16	55.2%
茨木東	37	2	5.4%
茨木西	29	19	65.5%
大阪東淀ちゃやまち	25	8	32.0%
大阪淀川	27	5	18.5%
千里	31	15	48.4%
千里メイプル	20	5	25.0%
摂津	35	8	22.9%
新大阪	34	28	82.4%
吹田	60	50	83.3%
吹田江坂	28	13	46.4%
吹田西	48	35	72.9%
高槻	51	41	80.4%
高槻東	37	23	62.2%
高槻西	19	16	84.2%
合計	510	284	55.7%

クラブ名	会員数	登録人数	%
大東	40	19	47.5%
大東中央	20	6	30.0%
枚方	50	18	36.0%
門真	31	9	29.0%
交野	35	11	31.4%
香里園	15	8	53.3%
くずは	80	41	51.3%
守口	43	7	16.3%
守口イブニング	24	2	8.3%
寝屋川	39	6	15.4%
大阪東	125	66	52.8%
大阪城東	37	17	45.9%
大阪城北	56	33	58.9%
大阪鶴見	34	27	79.4%
合計	629	270	42.9%

クラブ名	会員数	登録人数	%
東大阪	74	40	54.1%
東大阪東	64	41	64.1%
東大阪西	30	6	20.0%
東大阪中央	18	17	94.4%
東大阪みどり	22	6	27.3%
大阪柏原	27	11	40.7%
大阪御堂筋本町	46	25	54.3%
大阪難波	58	30	51.7%
大阪なにわ	14	3	21.4%
大阪ネクスト	27	17	63.0%
大阪南	178	141	79.2%
八尾	62	33	53.2%
八尾中央	12	7	58.3%
八尾東	27	5	18.5%
合計	659	382	58.0%

クラブ名	会員数	登録人数	%
大阪堂島	40	19	47.5%
大阪フレンド	14	7	50.0%
大阪みおつくし	8	7	87.5%
大阪西北	41	13	31.7%
大阪リバーサイド	33	24	72.7%
大阪船場	37	24	64.9%
大阪心斎橋	39	26	66.7%
大阪西南	113	73	64.6%
大阪ユニバーサルシティ	34	22	64.7%
大阪アーバン	29	29	100.0%
大阪うつぼ	37	21	56.8%
大阪西	101	54	53.5%
合計	526	319	60.6%

クラブ名	会員数	登録人数	%
大阪	271	58	21.4%
大阪イブニング	15	8	53.3%
大阪平野	49	38	77.6%
大阪城南	47	17	36.2%
大阪中之島	34	30	88.2%
大阪大手前	28	6	21.4%
大阪咲洲	18	4	22.2%
大阪東南	34	26	76.5%
大阪天満橋	52	20	38.5%
大阪天王寺	48	21	43.8%
大阪帝塚山	43	25	58.1%
合計	639	253	39.6%

	会員数	登録人数	%
2018年 10月 15日	3662	1905	52.0%



米山奨学委員会／ロータリー財団

■地区米山奨学委員会より

2018年8月末	全国寄付金合計額	322,688,271円	(前年度比 1%減)		
//	第2660地区寄付金合計額	14,098,250円	(前年度比 1%減)		
2018年8月末	全国寄付合計トップ10	1. 第2750地区	22,668,826円	6. 第2580地区	15,569,750円
		2. 第2650地区	22,401,122円	7. 第2700地区	15,433,500円
		3. 第2770地区	19,182,500円	8. 第2660地区	14,098,250円
		4. 第2760地区	18,199,750円	9. 第2790地区	12,443,700円
		5. 第2590地区	15,711,000円	10. 第2710地区	11,295,810円

■米山功労者 次の方たちに米山功労者の称号が贈られました(2018年8月)。

氏名	回数	クラブ名
福井 宏有	4	大阪淀川
辻 義光	1	大阪中之島
辻 一夫	1	大阪中之島
満村 和宏	1	大阪中之島
檜皮 悦子	1	大阪中之島
吉田 了	1	大阪中之島

氏名	回数	クラブ名
小林 俊明	4	大阪中之島
山本 肇	5	大阪中之島
早瀬 道圓	18	大阪中之島
森田 亮介	2	豊中千里
廣瀬 彰久	10	守口
岩宮 孝子	1	守口

氏名	回数	クラブ名
松尾 安彦	2	守口
金城 奉逸	1	東大阪西
谷口 浩	6	池田くれは
田中 隆弥	7	池田くれは
山内 邦夫	9	池田くれは
水上 雅博	3	東大阪東

■米山功労クラブ 次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました(2018年8月)。

クラブ名	回数
守口	32

■ポール・ハリス・フェロー 次の方にポール・ハリス・フェローの称号が贈られました(2018年8月)。

氏名	クラブ名
和田 江寛	吹田
井上 憲	大阪東南
加藤 弘之	新大阪

氏名	クラブ名
山根 武夫	新大阪
濱田 恵	東大阪

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです(2018年8月)。

氏名	回数	クラブ名
嶋田 薫	1	東大阪
水上 雅博	2	東大阪東
藤本 良男	4	東大阪東
松尾 治	2	東大阪西
古市 仁	5	大阪西北
隅防 嘉之	8	大阪西北

氏名	回数	クラブ名
井本 喜代次	1	大阪東南
北村 佳久	1	大阪東南
和田 光博	1	大阪東南
前田 敏弘	4	大阪東南
多田 龍弘	4	大阪東南
橋本 友三	5	大阪東南

氏名	回数	クラブ名
山村 幸久	7	大阪梅田東
谷口 光夫	2	新大阪
平山 直樹	3	吹田
本田 壽子	3	吹田



2018-19年度 米山奨学会 寄付状況

2018年8月末日現在

クラブ名	普通寄付	特別寄付	合計	会員数 (7月1日)	寄付者数 (特別寄付)		特別 寄付者 割合	個人平均 寄付額
					個人	法人		
大阪中之島	145,000	590,000	735,000	29	29	0	100%	25,344
守口	86,000	691,000	777,000	43	43	0	100%	18,069
東大阪西	46,500	480,000	526,500	31	17	0	54.8%	16,983
池田くれは	155,000	300,000	455,000	31	3	0	9.7%	14,677
池田	124,000	329,000	453,000	31	27	0	87.1%	14,612
大阪淀川	135,000	270,000	405,000	28	27	0	96.4%	14,464
茨木西	72,500	290,000	362,500	27	29	0	107.4%	13,425
茨木	300,000	10,000	310,000	28	1	0	3.6%	11,071
大阪城東	92,500	300,000	392,500	37	10	0	27.0%	10,608
大阪大淀	100,000	280,000	380,000	40	0	0	80.0%	9,500
東大阪東	310,000	260,000	570,000	62	5	0	8.1%	9,193
豊中千里	138,750	100,000	238,750	37	1	0	2.7%	6,452
大阪北	1,134,000	0	1,134,000	188	0	0	0%	6,031
大阪大手前	162,000	0	162,000	27	0	0	0%	6,000
大阪リバーサイド	160,000	0	160,000	31	0	0	0%	5,161
枚方	250,000	0	250,000	49	0	0	0%	5,102
千里メイプル	100,000	0	100,000	20	0	0	0%	5,000
香里園	30,000	45,000	75,000	15	15	0	100%	5,000
大阪咲洲	90,000	0	90,000	18	0	0	0%	5,000
新大阪	85,000	83,000	168,000	34	16	0	47.1%	4,941
高槻東	152,000	0	152,000	38	0	0	0%	4,000
大阪南	680,000	0	680,000	170	0	0	0%	4,000
大阪そねざき	101,500	0	101,500	29	0	0	0%	3,500
大阪	645,000	240,000	885,000	258	8	0	3.1%	3,430
大阪船場	114,000	0	114,000	36	0	0	0%	3,166
大阪難波	174,000	0	174,000	58	0	0	0%	3,000
大阪梅田東	0	100,000	100,000	37	1	0	2.7%	2,702
八尾	155,000	0	155,000	58	0	0	0%	2,672
大阪北梅田	162,500	0	162,500	63	0	0	0%	2,579
摂津	85,000	0	85,000	33	0	0	0%	2,575
交野	87,500	0	87,500	34	0	0	0%	2,573
大阪城北	137,500	0	137,500	54	0	0	0%	2,546
大阪西	252,500	0	252,500	100	0	0	0%	2,525
箕面	72,500	0	72,500	29	0	0	0%	2,500
箕面千里中央	52,500	0	52,500	21	0	0	0%	2,500
茨木東	92,500	0	92,500	37	0	0	0%	2,500
千里	72,500	0	72,500	29	0	0	0%	2,500
吹田	152,500	0	152,500	61	0	0	0%	2,500
吹田江坂	67,500	0	67,500	27	0	0	0%	2,500
吹田西	120,000	0	120,000	48	0	0	0%	2,500
高槻	127,500	0	127,500	51	0	0	0%	2,500
高槻西	47,500	0	47,500	19	0	0	0%	2,500



クラブ名	普通寄付	特別寄付	合計	会員数 (7月1日)	寄付者数 (特別寄付)		特別 寄付者 割合	個人平均 寄付額
					個人	法人		
大東中央	50,000	0	50,000	20	0	0	0%	2,500
守口イブニング	57,500	0	57,500	23	0	0	0%	2,500
東大阪	182,500	0	182,500	73	0	0	0%	2,500
東大阪中央	45,000	0	45,000	18	0	0	0%	2,500
東大阪みどり	52,500	0	52,500	21	0	0	0%	2,500
大阪柏原	67,500	0	67,500	27	0	0	0%	2,500
八尾中央	30,000	0	30,000	12	0	0	0%	2,500
八尾東	67,500	0	67,500	27	0	0	0%	2,500
大阪中央	115,000	0	115,000	46	0	0	0%	2,500
大阪西北	105,000	0	105,000	42	0	0	0%	2,500
大阪梅田	82,500	0	82,500	33	0	0	0%	2,500
大阪ユニバーサルシティ	85,000	0	85,000	34	0	0	0%	2,500
大阪東淀ちゃやまち	62,500	0	62,500	25	0	0	0%	2,500
大阪鶴見	85,000	0	85,000	34	0	0	0%	2,500
大阪フレンド	52,500	0	52,500	21	0	0	0%	2,500
大阪御堂筋本町	110,000	0	110,000	44	0	0	0%	2,500
大阪なにわ	35,000	0	35,000	14	0	0	0%	2,500
大阪西南	272,500	0	272,500	109	0	0	0%	2,500
大阪心斎橋	95,000	0	95,000	38	0	0	0%	2,500
大阪うつぼ	90,000	0	90,000	36	0	0	0%	2,500
大阪平野	110,000	0	110,000	44	0	0	0%	2,500
大阪イブニング	37,500	0	37,500	15	0	0	0%	2,500
大阪城南	115,000	0	115,000	46	0	0	0%	2,500
大阪東南	85,000	0	85,000	34	0	0	0%	2,500
大阪アーバン	72,500	0	72,500	29	0	0	0%	2,500
大阪堂島	95,000	0	95,000	39	0	0	0%	2,435
大阪東	0	160,000	160,000	117	8	0	6.8%	1,367
大阪水都	45,000	0	45,000	45	0	0	0%	1,000
豊中	0	0	0	36	0	0	0%	0
豊中南	0	0	0	21	0	0	0%	0
大東	0	0	0	38	0	0	0%	0
門真	0	0	0	30	0	0	0%	0
くずは	0	0	0	74	0	0	0%	0
寝屋川	0	0	0	39	0	0	0%	0
大阪ネクスト	0	0	0	27	0	0	0%	0
大阪みおつくし	0	0	0	8	0	0	0%	0
大阪天満橋	0	0	0	50	0	0	0%	0
大阪帝塚山	0	0	0	43	0	0	0%	0
大阪天王寺	0	0	0	46	0	0	0%	0
合計	9,570,250	4,528,000	14,098,250	3,574	272	0	7.6%	3,944



2018年9月度 会員数・出席報告

I-M組	クラブ名	7月期初会員数		9月末会員数		入会者数		退会者数		増減	例会数	出席率	ホームクラブ出席率
		全員	女性	全員	女性	累計	累計	累計	累計				
I-M第1組	池田	31	31	2	0	0	0	0	3		80.46	73.56	
	池田くれは	31	33	5	2	0	2	2	2		96.88	89.07	
	箕面	29	30	3	1	0	1	3	3		73.90	66.97	
	箕面千里中央	21	21	3	0	0	0	0	3		93.61	93.61	
	大阪水都	45	48	16	4	1	3	2	84.08		81.81		
	大阪中央	46	46	5	0	0	0	4	88.05		77.54		
	大阪北梅田	63	65	7	2	0	2	2	72.40		55.84		
	大阪北	188	190	0	4	2	2	3	76.16		56.61		
	大阪大淀	40	40	0	0	0	0	4	82.99		72.79		
	大阪そねざき	29	29	20	0	0	0	3	79.48		77.37		
	大阪梅田	33	34	6	1	0	1	2	79.69		65.63		
	大阪梅田東	37	36	0	0	1	-1	3	81.26		70.65		
	豊中	36	36	2	0	0	0	2	88.02		79.06		
	豊中千里	37	37	4	0	0	0	4	84.01		74.89		
	豊中南	21	21	2	0	0	0	3	75.79		68.33		
小計	687	697	75	14	4	10		82.45		73.58			
I-M第2組	茨木	28	29	4	2	1	1	4	91.80		75.48		
	茨木東	37	37	5	0	0	0	4	81.15		64.47		
	茨木西	27	29	5	2	0	2	3	90.80		78.76		
	大阪東淀ちゃやまち	25	25	3	0	0	0	3	81.48		77.78		
	大阪淀川	28	27	5	0	1	-1	3	85.18		70.61		
	千里	29	31	2	2	0	2	1	75.86		72.41		
	千里メイプル	20	20	4	0	0	0	4	82.50		78.75		
	摂津	33	34	2	1	0	1	3	86.80		74.75		
	新大阪	34	34	1	0	0	0	4	87.12		77.58		
	吹田	61	60	8	0	1	-1	3	91.74		87.04		
	吹田江坂	27	28	1	1	0	1	2	100.00		90.60		
	吹田西	48	48	2	0	0	0	2	100.00		87.90		
	高槻	51	51	6	0	0	0	4	87.25		79.77		
	高槻東	38	37	2	0	1	-1	4	89.64		87.07		
	高槻西	19	19	0	0	0	0	3	85.97		71.94		
小計	505	509	50	8	4	4		87.82		78.33			
I-M第3組	大東	38	39	0	2	1	1	2	98.57		87.45		
	大東中央	20	20	10	0	0	0	2	85.41		68.58		
	枚方	49	50	1	2	1	1	3	80.01		67.78		
	門真	30	31	6	1	0	1	3	92.03		80.57		
	交野	34	35	1	1	0	1	4	76.65		75.16		
	香里園	15	15	0	0	0	0	3	92.85		85.71		
	くずは	74	80	2	6	0	6	4	60.92		47.39		
	守口	43	43	5	0	0	0	3	71.40		65.18		
	守口イブニング	23	24	5	1	0	1	3	84.72		80.55		
	寝屋川	39	39	4	0	0	0	3	83.03		77.67		
	大阪東	117	125	0	8	0	8	4	92.54		77.15		
	大阪城東	37	37	7	0	0	0	4	81.78		76.64		
	大阪城北	54	56	5	2	0	2	4	77.87		64.45		
	大阪鶴見	34	34	3	0	0	0	2	73.33		66.67		
	小計	607	628	49	23	2	21		82.22		72.93		

I-M組	クラブ名	7月期初会員数		9月末会員数		入会者数		退会者数		増減	例会数	出席率	ホームクラブ出席率
		全員	女性	全員	女性	累計	累計	累計	累計				
I-M第4組	東大阪	73	73	0	0	0	0	0	4		82.73	69.99	
	東大阪東	62	64	4	2	0	2	4	76.06		60.63		
	東大阪西	31	30	0	1	2	-1	2	82.25		75.35		
	東大阪中央	18	18	0	0	0	0	2	97.06		94.28		
	東大阪みどり	21	22	0	1	0	1	4	71.59		56.82		
	大阪柏原	27	27	2	0	0	0	2	88.00		88.00		
	大阪御堂筋本町	44	45	2	1	0	1	3	89.92		71.61		
	大阪難波	58	58	0	0	0	0	4	76.78		69.21		
	大阪なにわ	14	14	2	0	0	0	4	95.83		89.58		
	大阪ネクスト	27	27	8	0	0	0	4	66.29		64.44		
	大阪南	170	178	7	9	1	8	3	80.70		67.35		
	八尾	58	62	0	4	0	4	4	83.21		80.49		
	八尾中央	12	12	0	0	0	0	3	75.76		75.76		
	八尾東	27	27	1	0	0	0	3	81.06		74.71		
	小計	642	657	26	18	3	15		81.95		74.16		
I-M第5組	大阪堂島	39	40	3	2	1	1	2	90.00		82.50		
	大阪フレンド	21	13	3	0	8	-8	2	92.12		63.16		
	大阪みおつくし	8	14	7	6	0	6	2	61.50		59.30		
	大阪西北	42	40	0	0	2	-2	2	86.40		76.39		
	大阪リバーサイド	31	33	6	2	0	2	4	96.52		79.83		
	大阪船場	36	37	0	2	1	1	2	93.50		75.50		
	大阪心斎橋	38	39	0	1	0	1	4	96.07		85.29		
	大阪西南	109	113	32	4	0	4	4	84.91		67.27		
	大阪ユニバーサルシティ	34	34	4	0	0	0	3	73.53		58.82		
	大阪アーバン	29	29	5	0	0	0	3	75.86		71.26		
	大阪うつぼ	36	37	4	1	0	1	3	88.63		77.70		
	大阪西	100	101	0	2	1	1	2	82.42		76.11		
	小計	523	530	64	20	13	7		85.12		72.76		
	I-M第6組	大阪	258	271	2	13	0	13	4	70.06		55.09	
		大阪イブニング	15	15	3	0	0	0	4	76.67		68.33	
大阪平野		44	46	2	2	0	2	4	99.39		83.57		
大阪城南		46	47	0	1	0	1	4	100.00		91.58		
大阪中之島		29	33	1	4	0	4	4	90.31		77.41		
大阪大手前		27	28	4	1	0	1	4	85.30		83.47		
大阪咲洲		18	18	1	1	1	0	4	83.32		74.99		
大阪東南		34	34	1	0	0	0	3	81.37		75.49		
大阪天満橋		50	51	0	1	0	1	4	88.35		78.61		
大阪天王寺		46	48	1	2	0	2	3	87.29		80.56		
大阪帝塚山	43	44	4	1	0	1	3	80.62		77.44			
小計	610	635	19	26	1	25		85.70		76.96			

合計	クラブ名	7月期初会員数	全員	女性	入会者数	退会者数	増減	出席率	ホームクラブ出席率
	81	3,574	3,656	283	109	27	82	84.2	74.8

Rotary
Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2018年11月号

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

■ 「マイロータリーを活かす」

第2ゾーンの公共イメージ・コーディネーター就任に当たって、この3月にエバンストンで3日間の研修を受けた。世界の各地から44名のロータリーコーディネーター、ロータリー財団地域コーディネーター、公共イメージコーディネーターが同時に参加した。朝の9時から夕方までのハードな研修であったが、一つ強く印象に残っていることがある。研修の流れはガバナーエレクトの国際協議会でお馴染みの全体会と分科会が交互に行われるものであった。

その分科会の各セッションで扱う様々な設問に対してファシリテーターは必ず導入部分で「この問題の解決にあたって、リソースに何がありますか？」と異口同音に語ったのである。以来、私が所属する第2610地区のRLIのセッションでその質問を用いてみた。確かに問題解決にあたってリソースを意識することは基本的かつ大切なことと思われる。参加者の挙げるリソースの中に、ガバナー、バスターガバナー、RI理事、元RI理事、クラブ会長、元クラブ会長、ガバナー補佐、地区委員長などの人的リソースがあったが、全ての参加者が挙げたのはマイロータリーであった。それ位世界のロータリーにおいてマイロータリーは情報ツールとして認知されている。

しかるに日本においては決して有効に活用されているとは言えない。残念ながら私が所属する第2610地区は10%（今年7月の登録率）を切っている。その中であって40%を超える地区が4地区存在する。高い順に挙げると第2530地区（48, 95%）、第2660地区（46, 94%）、第2750地区（43, 48%）、第2820地区（40, 24%）である。因みに、バリー・ラシン会長は登録率60%を目標として掲げられている。

今、ロータリーは以下の3つの質問に答えることが求められている。「ロータリーとは何か」、「ロータリーは他の団体とどこが違うのか」、「ロータリーはなぜ必要なのか」である。

どれもロータリーの存在理由を明らかにする根源的な問いかけである。

一見難しく思える問いであるが、マイロータリーを覗いていると一応答えらしきものが浮かんでくるから不思議である。会員登録率アップに向けてガバナー始め地区指導者の一層のご理解と推進をお願いする次第である。

第2ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 柳生好春（野々市RC）

■ 「BE THE INSPIRATION」

本年度、バリー・ラシンRI会長は会長テーマとしてBE THE INSPIRATION（インスピレーションになろう）を掲げられました。

世界大会の帰路、成田空港で見たのは下の写真です。「インスピレーションになろう」は日本語として理解しにくいですが、既に、いろんなところで使われていることが解かりました。

あわせて、次のとおり新ビジョン声明が発表されました。

「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」

ロータリーは組織でありますから、企業体と同様に理念、目的、目標があります。ロータリーの目標は戦略計画であります。

1 戦略計画には、根幹をなす、**ミッション・ビジョン・バリュー**があります。

2 **新ビジョン**は戦略計画において、ロータリーが未来に実現しようとする、なりたい、ありたい姿です。

3 **ミッション**（任務）は、私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために

4 **バリュー**（共通価値観）人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

以上のように分けて考えたほうが理解し易いと思いますがどうでしょうか

持続可能な良い変化については、イアン H. S. ライズリー前RI会長の言葉が参考になります。

持続可能な奉仕とは、ロータリーの直接的な参加が終了した後も、その活動が長期的に良い影響を与え続けることを意味します。ポリオを撲滅することは、持続可能な奉仕の中で究極のものです。

新ビジョンを理解し戦略計画を持っていることは、変化に対応し、未来の計画を立てる上で大変重要です。クラブ、地区がロータリーの戦略計画に沿った目標を立てそれを推進していくことが会員の積極性、満足度を高める事になります。



第2ゾーン ロータリーコーディネーター補佐 釧田廣喜
（高山中央RC）

（写真の説明）

Inspiration of JAPANの意味は、日本的なおもてなしの心とか、礼儀正しいサービスとか、先進の技術とか、そういう日本の良さを強調したいようです。特に海外では「ANA」だけだと、どこの国の会社か分からない人もいるので、日本を強調したいようです。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

2018.10.17

Vol.223

10月は米山月間

台湾米山学友会から災害義援金が届きました

9月上旬、日本列島は台風21号と北海道胆振東部地震に相次いで見舞われ、各被災地のインフラは大きな打撃を受けました。台湾米山学友会では9月8日の役員会にて、全会一致で募金活動を決定。約3週間で28万6,500元(約105万円)を集めました。この義援金は、当会を経

由して、第2660地区と第2510地区に送られる予定です。同学友会の呉憲璋理事長は「今回の台風と地震による被害に我々は皆、大変驚き、直ちに募金を開始しました。台湾米山会一同、一日も早い被災地の再建と復興を心より祈っております」とのメッセージを寄せてくれました。

よねやま親善大使の紹介DVDが完成

今年7月に任命された第3代よねやま親善大使の紹介動画と、それを収録したDVDが完成しました。動画は、当会ホームページの『米山奨学会紹介ビデオ』のページから視聴できます。また、DVDをご希望の方には無料でお送りします。



すでにさまざまな地区の米山記念奨学セミナーなどに、よねやま親善大使をスピーカーとしてお招きいただき、ご好評を得ています。

よねやま親善大使の招へいをご希望の際は、米山記念奨学会事務局・広報担当までご連絡ください。

寄付金速報 — 米山月間へのご協力をお願いします —

9月までの寄付金は前年同期と比べて4.6%減(普通寄付金:0.06%減、特別寄付金:9.9%減)約1,850万円の減少となりました。

前年同期は、当財団設立50周年の記念寄付を多くいただいていたために上記の減少額となりましたが、7月からの累計額としては2014～

2016年度並みで、順調に推移しております。皆さまからのご寄付に深く感謝申し上げます。

10月は米山月間です。日本のロータリーが作り育てた独自の米山記念奨学事業を、引き続きご支援賜りますよう、よろしく願いいたします。

「紺綬褒章」の公益団体認定を受けました

このたび、当会は内閣府賞勲局より、公益のために私財を寄付し功績顕著なる方々へ授与される「紺綬褒章」の公益団体認定を受けました(平成30年9月12日付)。これにより、本年9月12日以降、個人では500万円以上、法人・団体等は1,000万円以上を当会にご寄付いただき、定められた条件を満たす場合に、紺綬褒章授与申請の対象となります。

ご寄付を複数回に分けて分納される場合も、あらかじめお申し出をいただいた場合には、申請の対象となります(分納期限の制限はございません)。詳しくは米山記念奨学会事務局までお問い合わせください。

※認定日(平成30年9月12日)以前のご寄付については申請の対象外です。分納分に含めることもいたしかねます。何とぞご了承ください

4年目を迎えた山の小学校支援 — 上海 —

上海を拠点とする中国米山学友会が、甘肅省臨洮県の苟家山小学校へ奉仕活動を実施しました。同県県長を務めていた学友、柴生芳さんの逝去をきっかけに始まった同校への支援も今年で4年目。これまでに、図書室やパソコン、浄水設備の寄贈などを行っています。

今年は9月2～3日にかけ、劉京榕前会長、



楊永平副会長、周峰幹事の3人が遠路はるばる山岳地帯にある同校を訪問し、先生から子どもたちの日常をヒアリングしたり、子どもたちと遊びながら交流したほか、各学年から選抜された前期期末試験優秀者計18人の児童に奨学金を手渡しました。加えて、難病で闘病中の子どもへ特別支援金を授与しました。平日は教師として、週末は自宅に戻って畑仕事と、休む間もなく働く先生方にも保温マグボトルをプレゼントしました。

今後、同学友会では、10月でも最低気温が0℃以下となる冬季の暖房設備や、土砂崩れによってたびたび寸断される道路の問題について検討し、子どもたちの教育環境をさらに整えていきたい、と話しています。

交流を通じて深める“実感と理解” — 第2590地区 —

4月採用の米山奨学生にとって、約半年が過ぎました。この間、各地区では、奨学生に日本文化やロータリーへの理解を深めてもらおうと、地区米山記念奨学委員会や学友会の主催でさまざまなイベントが企画されています。

第2590地区（神奈川県横浜市・川崎市）では9月1日、恒例の日帰りバス旅行を実施。米山奨学生や学友、世話クラブのカウンセラーや会長など、総勢約120人が参加して、国営ひたち海浜公園の散策とメロン狩りを楽しみました。同地区は1995年度以降、ほぼ毎年、個人平均寄付額全国1位で、会員に占める特別寄付者の割合も全国4位の高さですが、「このような地道な交流の積み重ねが当地区の寄付文化を支えています。バス旅行にはカウンセラー以外

のロータリアンやガバナー補佐にも多数ご参加いただき、奨学生と一日ゆっくり過ごして米山記念奨学事業を実感しながら、さらに理解を深めていただいています」と、同地区米山記念奨学委員長の一樂祥子氏は語ります。また、実行担当の地区米山学友委員長 楠美憲輔氏も「この事業の目的は人材育成であり、寄付はそのための“生みの親”です。今後は学友の育成面にも力を入れて、良い循環をつくっていききたい」と話してくださいました。



～ 海外米山学友会総会のご案内 ～

韓国 2018年11月17日(土) 17:00～
会場：ソウルパシフィックホテル 2階 南山ホール
申込：yoneyama@hanmail.net へ(締切:10月31日)

台湾 2018年12月1日(土) 受付 14:30～
(総会 15:00～、懇親会 18:00～)

会場：サンライズゴルフクラブ(桃園揚昇高爾夫球場)、申込：rotary_yoneyama@yahoo.com.tw へ

【その他 日程確定分】

- ・マレーシア:
2019年2月24日(日)
- ・ミャンマー:
2019年3月3日(日)

文庫通信 [373]

ロータリー文庫通信373号 2018年10月 日本のロータリーの歴史より

ロータリー文庫は日本のロータリー50周年記念事業の一つとして、1971年11月に公開された皆様の資料室です。日本のロータリーは2020年に100周年を迎えます。

今回は1920年東京ロータリークラブ発会から約50年間の日本のロータリーの歴史の中でのいくつかの資料をご紹介します。特にロータリーの友、ロータリー文庫、米山記念奨学会については発足当時を記述した資料を選びました。これらの中から日本のロータリーの歴史の新たな発見があり、皆様の今後のロータリーライフに生かされることを願います。

書名	著者 / 出版社	発行年	頁	
温故知新 ロータリーの今昔	遠藤健三 D.263	1987	7P	※
<座談会>ロータリー文庫について	- ロータリー文庫	1987	27P	※
ロータリー米山記念奨学会史 <第一章>	- 米山記念奨学会	1992	31P	※
日本ロータリー史(1920~1970)	直木太郎 -	1971	37P	※
日本ロータリー再建の頃	ジョージ R.ミーンズ(元 RI 事務総長) -	友1976 /9月~	27P	※
満州におけるロータリー運動の展望	佐々木孝三郎 -		19P	※
朝鮮に於けるロータリーと 第10年次大会を回顧して	佐々木孝三郎 -		11P	※

上記 ※印はデジタル化されている資料です。

*資料の検索は文庫ホームページから <http://www.rotary-bunko.gr.jp>



トップページには三つの窓があります。上記矢印「HP利用方法」をクリックしていただきますと、「ホームページの利用方法」というPDFが表示されます。

ここには1999年2月ホームページ開設以来、データベース化された全ての資料の検索方法が書かれています。

尚、過去の文庫通信一覧については、左窓の「詳細はこちらへ」をクリックしてください。



月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAX またはE-mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。

月信編集委員会

- ガバナー 山本 博史 (大阪南RC)
- 地区代表幹事 宮里 唯子 (茨木西RC)
- 地区副代表幹事 山本 和良 (大阪南RC)
- 担当地区幹事 横尾 国治 (大阪南RC)
- 地区幹事 木村 芳樹 (大阪南RC)
- 地区幹事 栗原 大 (大阪フレンドRC)
- 事務局員 井上 望美

2018 - 19年度
国際ロータリー 第2660地区

ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

ガバナー	山本 博史
地区代表幹事	宮里 唯子
地区副代表幹事	飯井 克典
	山本 和良
事務局員	栗正 久美
	井上 望美
	加茂 春日
	船橋 美紗子
	杉本 亜鶴巳

●所在地

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL 06-6264-2660
FAX 06-6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp

●ホームページ

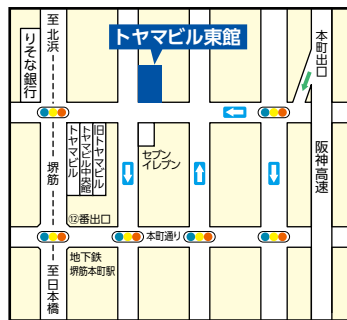
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●勤務時間

9:30~18:00

●休日

土曜、日曜、祝日
年末年始
2018年12月31日(月)~
2019年1月4日(金)



※地下鉄堺筋線 堺筋本町 ⑫番出口すぐ

ガバナー事務所に会議室を併設しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。



国際ロータリー 第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階
TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan
TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp